



# 市民の皆さんの声を 市政に!!

市は、市民の皆さんのご意見、ご提言を市政に反映させるため4月18日から5月11日(17会場)にかけて、旧市町で行っていた「市政懇談会」(各まちづくり推進委員会主催)と「町内委員会議」で意見を交換しました。会の冒頭で秋岡市長は、「市民の皆さんの要望にあったまちづくりを進めていきたい。“高粱”らしい高粱市をつくるためにお力添えをいただきたい」と話し、その後、参加者と懇談し活発な意見が交わされました。今月号では、寄せられた主なご意見、ご提言について紹介します。



高齢化が進んでいる。地域に老人ホームをつくっていただきたい。(川面、中井)

**答**

養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、ケアハウス、グループホーム、ゆうゆう村等の老人保健施設とさまざまな種類があります。川上町や備中町には一人暮らしの人が集まって生活するところがあります。住み慣れた家や地域で暮らすことのできる環境づくりが大切だと考えていますので、どういった形のがよいのか地域で考えていただきたい。老人ホームに入所することで過疎化が進んだり、集落がなくなってしまうことも考えられます。市では、在宅での生活が続けられるよう、地域支援あい事業等の在宅福祉サービスを充実させていきたいと考えています。



学童保育で楽しく過ごす子どもたち（玉川学童保育）

**旧自治体で行われていた福祉・医療・通学・生活バスなど「交通の便」の確保は今後どうなるのか。**

（高梁、津川、中井、宇治、松原、高倉、川上）

**答**

川上町は福祉バス、成羽町は医療バスなど旧自治体ごとで取り組みは違っており、利用目的もさ

まぎませんでした。新市としては、全市にわたる交通手段のあり方を検討中であり、早い時期に一定の方向性を示し実現したいと考えています。

共働きなどで子どもが学校から帰っても家に誰もいない家庭が多くなっている。学童保育をつくってもらいたい。

（津川、巨瀬、中井）

**答**

場所やスタッフなど、どういう形がよいのか、地域の母親クラブやPTAの皆さんのお話を聞いて対応したいと思います。また、土・日曜日、夏休みなど子どもの過ごし方をどうするかも考えていただきたいです。成羽町では、夏休みに教員定年退職者の力を借りて子どもの世話をしています。こういったことも参考にしたい。

すでに設置している所でも母親クラブやPTAの方などと一緒に話せる時間を作っ

ていただき、いろいろとお話しさせていただきたい。

**市内の病院は、高度医療に対応できない。救急車の長距離搬送やヘリポート設置を考**

えてほしい。

**答**

県南の医療機関への搬送となれば長時間かかりますし、搬送中傷病者が耐えられるかという問題もあります。傷病者の容態を軽視して安易に搬送すべきではないと考えます。こうした考えのもと、管内の医療機関で医師の所見の判断により、転院搬送の必要性があれば搬送しています。

また、救急救命士等が傷病者の状態により、高度な専門的治療が必要であると判断した時はドクターヘリ等で搬送し、特殊なげがや病気の場合には、受け入れ先の医療機関と事前の受け入れ確認を取って搬送しています。高梁管内のヘリコプターの離着陸場は現

在16カ所を確保しています。一般的には公用地を離着陸場としていますが、緊急時には離着陸場以外でも安全確保できれば利用できます。

**市立成羽病院を魅力のある病院に**

（津川、中井）

**答**

成羽病院は50年の歴史があり、今の建物で36年。地域・へき地医療が目的で、50年間黒字経営です。眼科、耳鼻咽喉科を毎日診療してほしいという要望がありますが、民間の病院にもっと頑張してほしいと思っています。それで足りない部分を補うのが市立病院だと考えています。また、なるべく早い時期に改築をしたいと考えています。

基盤整備

現在、高梁・有漢地域局